

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
京都牝馬ステークス	別定	GIII	京都	芝1400m	良想定	平坦	中荒れ	C

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	カリオストロ	北村友	エイシンフラッシュ	キングマンボ	フジキセキ	フジキセキ	54	C	A	B	C	E	D	12	消	
2	ヤマカツマーメイド	国分優	ロードカナロア	キングマンボ	グラスワンダー	ロベルト	54	D	B	B	B	C	D	14	消	
3	メイショウケイメイ	古川	ワークフォース	キングマンボ	デュランダル	サンデーサイレンス	54	E	B	C	C	E	E	16	消	
4	イベリス	酒井	ロードカナロア	キングマンボ	ポストンハーバー	シアトルスルー	54	C	B	B	B	A	E	D	7	消
5	マリアズハート	藤井勘	Shanghai Bobby	ストームキャット	Maria' s Mon	レイズアネイティヴ	54	C	C	D	C	B	C	11	△6	
6	アンリミット	城戸	メイショウボーラー	ヘイロー	マンハッタンカフェ	サンデーサイレンス	54	D	D	E	C	E	E	15	消	
7	アイラブテラー	岩田康	トーセンラー	ディーブインパクト	ダンスインザダーク	サンデーサイレンス	55	B	B	C	C	A	B	4	○	
8	リリーパレロ	松山	ロードカナロア	キングマンボ	フレンチデビュティ	ゲイアスリジント	54	C	B	B	B	B	C	6	△2	
9	ビッククインバイオ	武豊	キングズベスト	キングマンボ	ゼンノロブロイ	サンデーサイレンス	54	C	C	B	C	C	C	2	△3	
10	アマルフィコースト	幸	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	High Chaparral	サドラーズウェルズ	54	C	B	B	B	D	C	9	△5	
11	アフランシール	秋山真	ハーツクライ	サンデーサイレンス	サクラバクシンオー	プリンスリーギフト	54	C	B	B	C	A	B	10	▲	
12	シャインガーネット	田辺	オルフェーヴル	ステイゴールド	Gone West	ミスタービター	54	B	A	A	C	A	A	1	◎	
13	メイショウショウブ	国分恭	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	54	C	B	B	A	E	D	13	消	
14	ブランノワール	団野	ロードカナロア	キングマンボ	Singspiel	サドラーズウェルズ	54	C	B	B	B	A	B	8	△1	
15	ギルデッドミラー	福永	オルフェーヴル	ステイゴールド	Tiznow	インリアルティ	54	B	A	A	C	A	B	3	☆	
16	リパティハイツ	和田竜	キングカメハメハ	キングマンボ	Dubawi	ミスタービター	56	C	C	C	C	C	C	5	△4	

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
例年はそのレース名通りに京都芝1400mで行われているレースですが、今年は阪神開催なので例年の傾向は参考にならず。というわけで、昨年行われた阪神芝1400mの全レースのラップ平均を出してみました。その結果がこんな感じ。
12.3 - 10.8 - 11.4 - 11.7 - 11.6 - 11.7 - 12.2 (34.5 - 35.5)
昨年のレースラップ平均とコース高低断面図を見てお分かりかと思うが、スタートして平坦から下り坂になるコースレイアウトのため、この条件は非常にテンのラップが速くなりやすい。より距離が短い阪神芝1200mよりもテンのラップが速くなることはザラですし、その上で前半飛ばした分で最後の急坂部分で上がりがかかって消耗戦になるのが特徴。競馬ファンが考える芝1400mのイメージに最も近い条件と言って良いんじゃないだろうか。
前半から中盤部分にかけてラップが緩むところがないので、途中で息を入れなきゃいけない馬にとっては厳しい舞台。ワンペースでずっとスピードを維持できて、なおかつ溜めが効いて最後にグツと急坂で差し込んでくれるような馬が有利な舞台。今年の出走メンバーを見てもアマルフィコースト、アンリミット、イベリス、カリオストロ、ビッククインバイオ、メイショウショウブとやたらに徹底先行タイプの馬が揃った印象。開幕週の阪神芝の馬場を見る限り、圧倒的に先行有利の馬場だったことを考えても先行争いは激しくなりそうで、ある程度は溜めて差してこれる馬が有利になると見ます。
本命は◎ シャインガーネット が面白い。これまでの戦績を見ても、マイル重賞の3戦はどれも行きっぷり抜群で好位からの競馬ができており、手応え十分のところから伸びあぐねて掲示板付近の結果。一方でファルコンSは激流を好位追走から突き抜ける素晴らしい内容でしたし、この馬は1400mがベストなんだろう。前走のターコイズSでもかかっていたし、今回は短縮ローテでベスト条件となれば絶好の狙い目だろう。
REVIEW

※文字色の意味2021/2/20

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

コース特徴

阪神芝1400mはテンのラップが速くなりやすい。その上で最後に上がりがかかる特殊な芝1400m適性が要求される舞台。

馬場レベル&バイアス

B=やや高速

血統傾向

開幕週の阪神芝はキングマンボ系が優勢。

展開

やたらに徹底先行タイプの馬が揃った印象。開幕週の阪神芝の馬場を見る限り、圧倒的に先行有利の馬場だったことを考えても先行争いは激しくなりそうで、ある程度は溜めて差してこれる馬が有利になると見ます。

データなど特記事項

今年は阪神開催なので例年のデータは使えず。

危険な馬

リパティハイツ=近走は前向きな気性を考慮してスプリント戦で活躍していた印象。なおかつ前走はタフ馬場も向いていた感じがあり、今回は距離延長、高速馬場と条件が向かない感じはします。

妙味大な馬

シャインガーネット=これまでの戦績を見ても、マイル重賞の3戦はどれも行きっぷり抜群で好位からの競馬ができており、手応え十分のところから伸びあぐねて掲示板付近の結果。一方でファルコンSは激流を好位追走から突き抜ける素晴らしい内容でしたし、この馬は1400mがベストなんだろう。

穴馬

ブランノワール=ブチノワールの子供たちは兄ステイオンザトップを見ても一瞬しか脚が使えないタイプ。この馬はロードカナロア産駒というところもあるので、新馬戦以来使われていないが1400mぐらいで脚を溜める競馬が合う可能性あり。ビュンと一瞬の脚は使える馬なので、上手くハマれば。

想定時計	上3F	下3F
1:19.9	33.9	34.6

想定ラップタイム

12.1 - 10.7 - 11.1 - 11.4 - 11.4 - 11.3 - 11.9

Copyright (C) 2014 - KAZ
AllRightsReserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	カリオストロ	北村友	消	D	12	今までのレースぶりを振り返ってみても、揉まれずに先手を奪えなきやダメなタイプ。この条件は2勝をあげているだけにベストだとは思いますが、今回はやたらに同型が揃った感じがしますし、厳しい展開になるんじゃないでしょうか。	0	
2	ヤマカツマーメイド	国分優	消	D	14	同条件のフィリーズレビューで好走実績あるが、どうも3歳春からの成長がない感じで近走は見せ場なしのレースぶり。休み明けだったとはいえ、今回と同条件の阪神カップでは見せ場ゼロのレース内容でしたし、ちょっと今回のタイミングでは買いくいか。	0	
3	メイショウケイメイ	古川	消	E	16	コース条件としては1400mぐらいがベストな馬だが、古馬混合戦では能力的に厳しい感じで見所すら作れたレースがない。今回も普通に考えて厳しいんじゃないだろうか。	0	
4	イベリス	酒井	消	D	7	近走を見ても先手を奪う競馬でその持続力を活かしている感じ。前走内容から能力的に適用して良さそうだが、今回は前走以上に同型が揃った感じ。酒井学騎手なら引かないでしょうし、この馬が引かなければ必然的にハイペースの展開になりそうだ。	0	
5	マリアズハート	藤井勘	△6	C	11	春雷Sや函館スプリントSのレース内容からも能力自体はこの相手でも通用するのは確か。ただ、今回がキャリアで初めての1200m戦で今回は半年の休み明け。鞍上の藤井騎手も全く信頼ならないですし、まあ展開は向きそうなので抑えて軽く買うぐらいが妥当か。	0	
6	アンリミット	城戸	消	E	15	血統イメージ通りに決った馬場で先手を奪ってこそその馬。今回は高速馬場で同型多数でかなり展開的に厳しくなりそうですし、さすがに厳しいんじゃないだろうか。	0	
7	アイラブテラー	岩田康	○	B	4	最近では1200mにこだわって使われているが、条件戦時代の序盤は1400mで連勝した成績。その時のレース内容もなかなか強かったですし、この距離自体には問題はなさそう。前走が大出遅れなので引き続いての不安があるのと、1400mは大丈夫そうとはいえ延長でここに挑んでくる点が若干ネック。	0	
8	リリーバレロ	松山	△2	C	6	確かに1400m前後の距離では底を見せていない戦績ではあるが、前走は久々だったとはいえ超スローペースで完璧に展開が向いていた。今回は松山騎手ということで人気になると思うが、今回の相手でガチンコ勝負となると通用するかはやってみないとわからない。まあ今の松山騎手なら印は絶対に抑えておきたい。	0	
9	ビックウィンバイオ	武豊	△3	C	2	マイルでは若干距離が長いので1400mという距離自体は絶好。ただ、今まで結果を出してきた1400mは東京コースですし、東京芝1400mは前半がゆったりと流れやすいので阪神とは違う適性が問われる。今回はテンから激流になる阪神芝1400mで、先行馬が多数いる中でどういう競馬になるか未知数な部分もあり。テン乗りも難しいんじゃないだろうか。	0	
10	アマルフィコースト	幸	△5	C	9	1200mでは若干距離が短い馬で、近走はスプリント戦を使われて伸び負けを繰り返している印象。ベスト条件の1400mでは過去に重賞実績もありますし、今回のメンバーでも十分に適用していいぐらいの馬ではあるはず。今回は前に行く馬が多いので展開的にどうかだが、人気がないならば抑えておいていいんじゃないだろうか。	0	
11	アフランシール	秋山真	▲	B	10	血統イメージや条件戦時代の走りを見ても、追走スピードが問われる激流の芝1400m向き。京成杯オータムハンデは距離が長かった上にバイアスと真逆の途中でまくる競馬での惨敗は仕方なし。前走でもうちょっと見せ場を作れなかったか、という感じはあるが、ベスト条件なら重賞でも適用していいんじゃないだろうか。	0	
12	シャインガーネット	田辺	◎	A	1	これまでの戦績を見ても、マイル重賞の3戦はどれも行きっぷり抜群で好位からの競馬ができており、手応え十分のところから伸びあぐねて掲示板付近の結果。一方でファルコンSは激流を好位追走から突き抜ける素晴らしい内容でしたし、この馬は1400mがベストなんだろう。前走のターコイズSでもかかっていましたし、今回は短縮ローテでベスト条件となれば絶好の狙い目だろう。	0	
13	メイショウショウブ	国分恭	消	D	13	一昨年の阪神カップでは好メンバー相手に積極策で厳しい展開ながら3着に好走。それ以降は凡走続きだが、どうも喉がダメだったようでその影響で伸び切れていなかったか。今回は喉なり手術明けでベスト条件になりますが、さすがに同型が揃った印象。騎手も信頼できないとなるとなかなか評価はしにくい。	0	
14	ブランノワール	団野	△1	B	8	ブチノワールの子供たちは兄ステイオンザトップを見ても一瞬しか脚が使えないタイプ。この馬はロードカナロア産駒ということもあるので、新馬戦以来使われていないが1400mぐらいで脚を溜める競馬が合う可能性あり。ビュンと一瞬の脚は使える馬なので、上手くハマればここは穴を開けてもいいんじゃないだろうか。	0	
15	ギルデッドミラー	福永	★	B	3	気性激しいタイタンクイーン系の血統ということで折り合いが相当に難しそうな馬。マイルではかかるのでよほど上手く乗らないと長そうで、1400mがベストだがこの距離でも折り合い難はある感じ。今回は乗り慣れた福永騎手で、なおかつ激流でペースが流れそうなものもプラス。1勝クラス勝ちの内容やNHKマイルカップ3着の内容からもここでは上位だろう。	0	
16	リパティハイツ	和田竜	△4	C	5	近走は前向きな気性を考慮してスプリント戦で活躍していた印象。なおかつ前走はタフ馬場も向いていた感じがおり、今回は距離延長、高速馬場と条件が向かない感じがします。過去に今回と同条件のフィリーズレビューで善戦実績はありますが、それと一緒にしてはいけないんじゃないでしょうか。	0	